



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）8月25日号 No. 1504

目次

■ロシアの穀物輸出禁止がもたらすもの.....	坂口 泉 1
■統計速報	10
2010年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入／10	
■トピックス	16
トリアッチ支援に向け経済特区を設立／16	
三菱商事、JXエネルギーがロシアから排出枠取得／17	
伊藤忠と帝石、アゼル油田権益拡大／17	
岡田外相がウズベク、カザフ訪問／17	
■エトセトラ	18
『調査月報』2010年9-10月号のご案内／18	

ロシアの穀物輸出禁止がもたらすもの

ロシアNIS経済研究所

坂口 泉

はじめに

穀物輸出大国としての地位を確固たるものにしつつあったロシアに、現在ある異変が生じている。沿ヴォルガ連邦管区等で干ばつ被害が広がり穀物の収穫量が大幅に減少することが確実になりつつあるのだ。そのような状況を受け、8月5日にロシア政府は小麦をはじめとする穀物の輸出を一時的に禁止することを発表した。この発表は世界中に大きな衝撃を与え、小麦の先物取引価格も高騰した。日本への影響も取りざたされるようになっており、当会への問い合わせも多くなっている。以上の状況を踏まえ、本稿では、ロシアの穀物輸出の実態、干ばつ被害の状況、輸出禁止措置の背景にある諸事情を紹介した後に、ロシアからの穀物輸出量の減少が日本に及ぼす影響についての考察を試みる。

1. 穀物輸出大国「ロシア」の実像

輸出大国となった経緯 ロシアはかつて穀物のネットの輸入（輸入量が輸出量を上回る）国であったが、2001/2002の穀物年（当該年の7月1日から翌年の6月30日までの1年間）